

予期せぬ出来事からの生活再建 ～必要な支援と地域づくり～

生活困窮者自立支援制度が施行され、10年が経とうとしています。
この間、熊本地震、西日本豪雨、新型コロナウイルス感染症、そして、本年1月1日に発生した能登半島地震などがあり、わたしたちの日常は生活に困窮するリスクが極めて高い深刻な状況に置かれていると言っても過言ではありません。
このような、予期せぬ出来事によって起こる生活困窮対策について、日頃からわたしたち個人や地域ができる取組について考えます。

日時 令和6年9月7日(土) 10:00 ~ 12:30 (受付 9:30~)

場所 京都テルサホール (京都市南区東九条下殿田町70)
アクセス
JR京都駅(八条口)より徒歩15分、近鉄東寺駅より徒歩5分、地下鉄九条駅4番出口より徒歩5分

基調講演

「災害は平時の支援者に関係ない？」
ーなぜ災害と福祉の連携が求められるのかー

菅野 拓氏

大阪公立大学大学院文学研究科 准教授
石川県「令和6年能登半島地震復旧・復興アドバイザーボード」委員



鼎談

「予期せぬ出来事からの生活再建 ～必要な支援と地域づくり～」

参加無料
8/30までに
お申し込み
ください

定員
100名
先着順

【登壇者】五石 敬路 氏 大阪公立大学大学院都市経営研究科 准教授
大阪国際感染症研究センター 社会環境部門長

菅野 拓 氏 大阪公立大学大学院文学研究科 准教授

古橋 勝也 氏 京都府危機管理監付企画参事

【進行】宮村 匡彦 氏 京都府健康福祉部地域福祉推進課参事

主催：京都府、一般社団法人京都自立就労サポートセンター

(お問い合わせ) 一般社団法人 京都自立就労サポートセンター
京都市南区東九条下殿田町70 京都テルサ西館3F ☎075-693-7727